

令和8年7月31日公表

農業物価統計調査 令和7年 農業物価指数 －令和2年基準－

農産物価格指数は136.4で、前年に比べて16.3%上昇
農業生産資材価格指数は124.2で、前年に比べて3.0%上昇

【調査結果の概要】

1 農産物価格指数（令和2年＝100）

令和7年の農産物価格指数（総合価格指数（以下「総合」という。））は136.4で、前年に比べて16.3%上昇した。

これは、前年に比べて、米、鶏卵等の価格が上昇したことによる。

2 農業生産資材価格指数（令和2年＝100）

令和7年の農業生産資材価格指数（総合）は124.2で、前年に比べて3.0%上昇した。

これは、前年に比べて、飼料の価格が低下したものの、畜産用動物、農機具等の価格が上昇したことによる。

表1 令和7年 農業物価指数

令和2年＝100

区 分	価格指数	対前年 騰落率	区 分	価格指数	対前年 騰落率
農産物（総合）	136.4	16.3%	農業生産資材（総合）	124.2	3.0%
うち 米	194.0	69.4%	うち 畜産用動物	99.0	14.1%
鶏 卵	185.7	33.4%	農 機 具	113.6	4.9%
野 菜	132.4	3.7%	飼 料	137.7	△ 2.0%
子 畜	91.7	21.8%	光 熱 動 力	134.8	3.7%

注：調査は令和7年1月から12月まで行い、価格指数は令和7年平均価格を令和2年平均価格で除したものである。

3 農業交易条件指数

農業交易条件指数は109.8となり、前年に比べて12.8%上昇した。

表2 農業交易条件指数の推移

令和2年＝100

区 分	令和 2 年	3	4	5	6	7	対前年 騰落率 (令和7年/ 令和6年)
農 産 物 価 格 指 数 （ 総 合 ） ①	100.0	100.8	102.2	108.6	117.3	136.4	16.3%
農業生産資材価格指数（総合）②	100.0	106.7	116.6	121.3	120.6	124.2	3.0%
農業交易条件指数 ① ÷ ② × 100	100.0	94.5	87.7	89.5	97.3	109.8	12.8%

注：農業交易条件指数の上昇は、収益環境の改善を意味する。

◎ 累年データ

図1 農業物価指数の推移(令和2年=100)

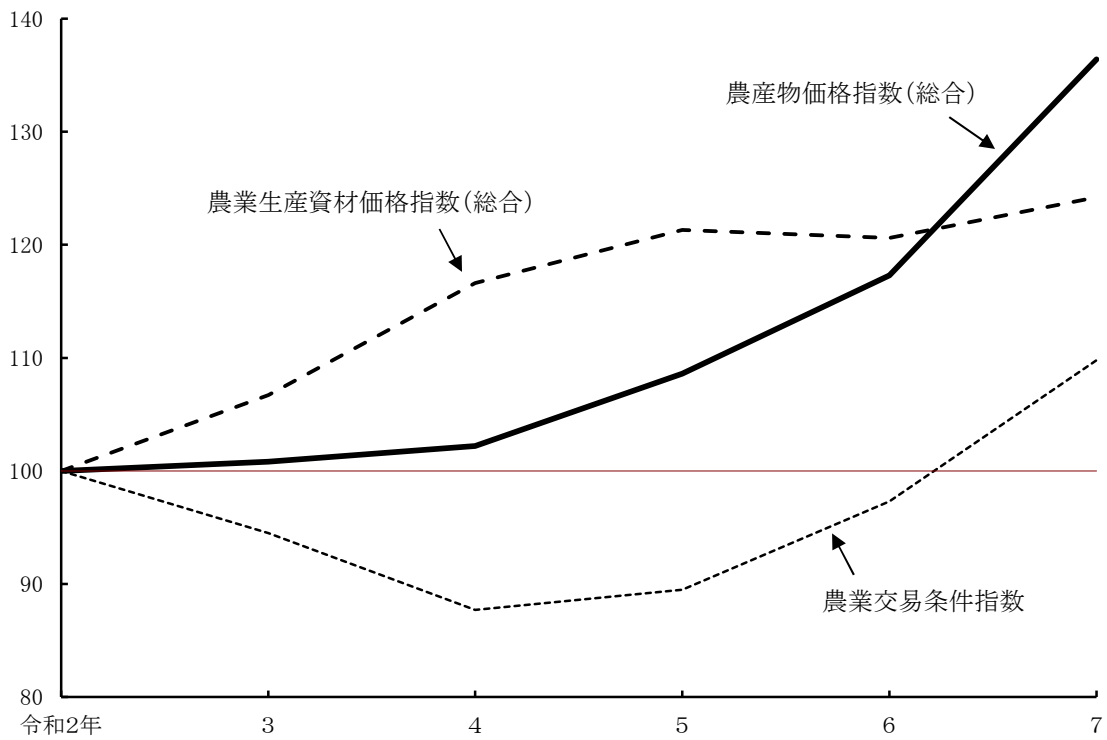


図2 農産物価格指数(総合)の月別推移(令和2年=100)

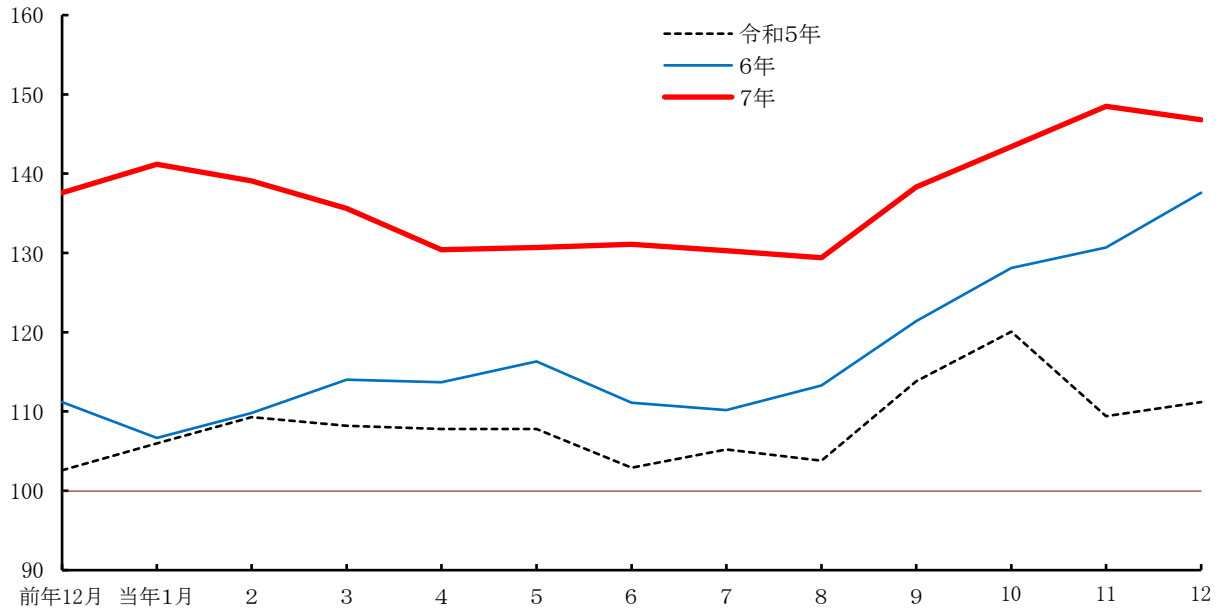


図3 主な農産物の類別・月別価格指数(直近3年間)(令和2年=100)

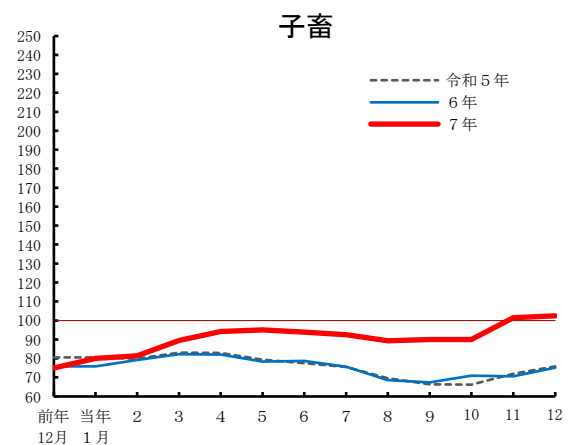
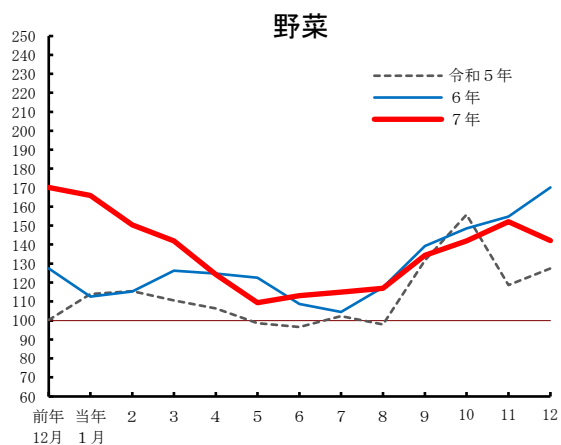
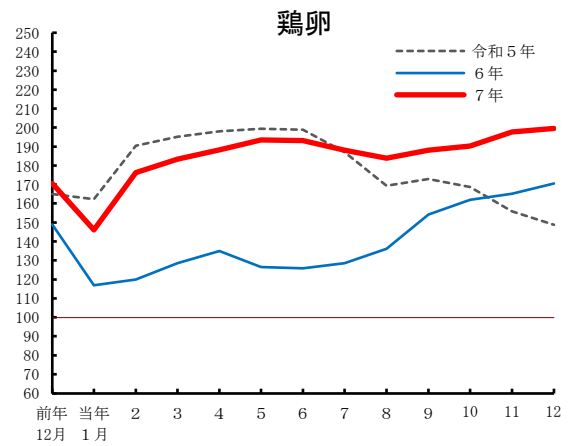
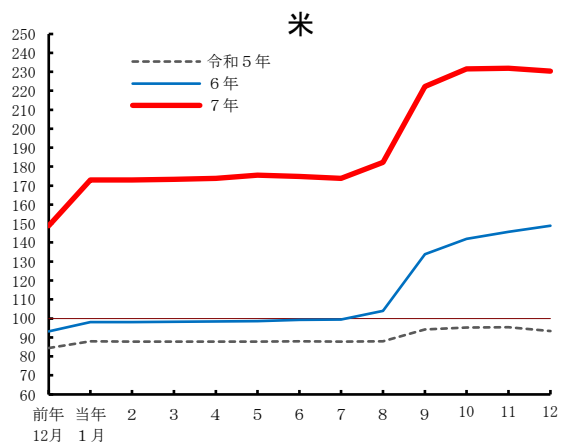


図4 農業生産資材価格指数(総合)の月別推移(令和2年=100)

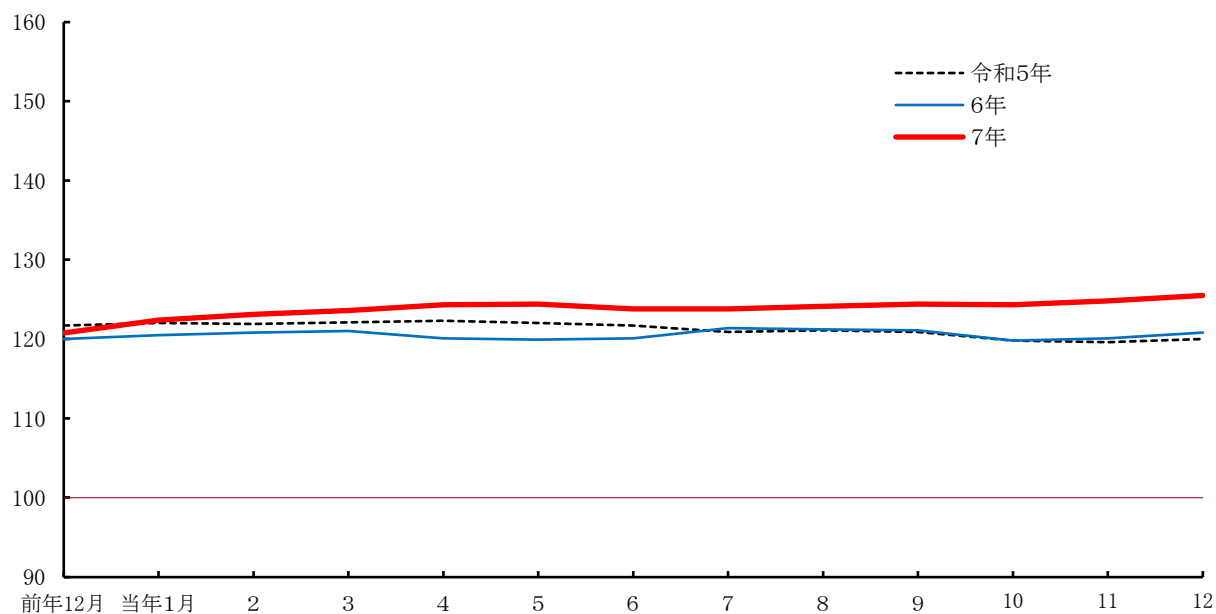
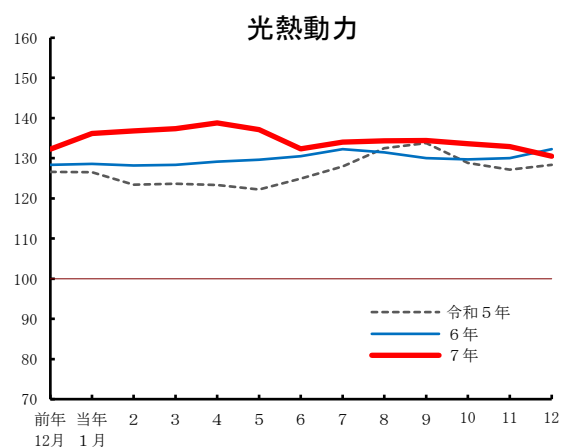
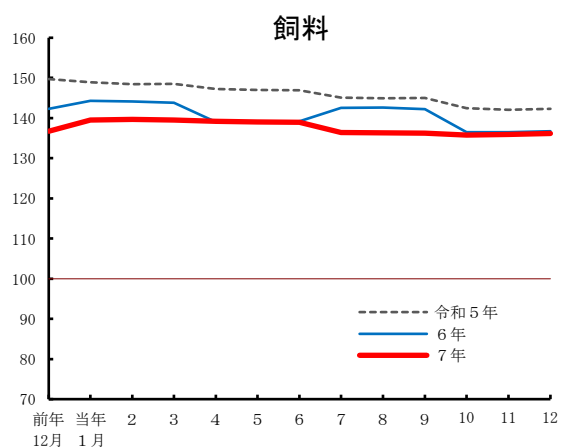
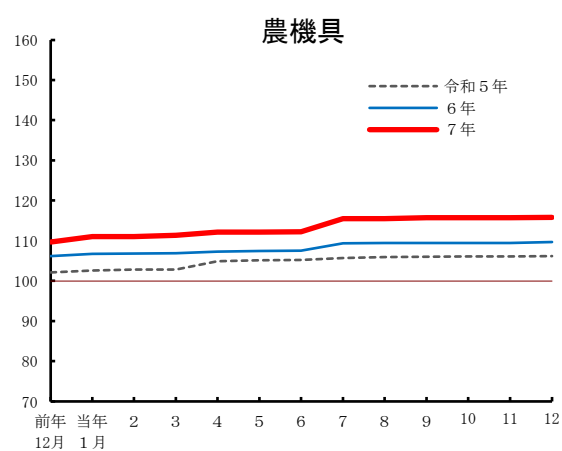
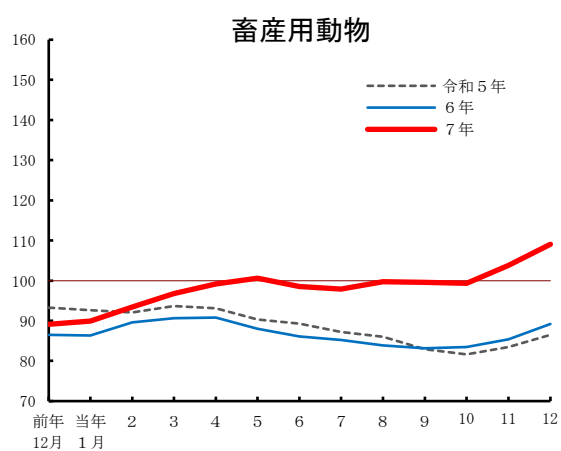


図5 主な農業生産資材の類別・月別価格指数(直近3年間)(令和2年=100)



【調査結果】

1 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は136.4となり、前年に比べ16.3%上昇した。

類別の指数の主な動向は、次のとおりである。

- (1) 米は194.0で前年に比べ69.4%上昇した（年間を通じて上昇。）。
- (2) 鶏卵は185.7で前年に比べ33.4%上昇した（年間を通じて上昇。）。
- (3) 野菜は132.4で前年に比べ3.7%上昇した（根菜、葉茎菜の価格が上昇。）。
- (4) 子畜は91.7で前年に比べ21.8%上昇した（和子牛等の価格が上昇。）。

表 3 農産物の年次別価格指数及び対前年騰落率

令和2年=100

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率					寄与度
	令和 2年	3	4	5	6	7	令和 3年	4	5	6	7	
農産物（総合）	100.0	100.8	102.2	108.6	117.3	136.4	% 0.8	% 1.4	% 6.3	% 8.0	% 16.3	%
うち米	100.0	88.6	82.0	90.2	114.5	194.0	△11.4	△7.4	10.0	26.9	69.4	10.65
麦	100.0	106.1	118.4	106.9	100.9	93.3	6.1	11.6	△9.7	△5.6	△7.5	△0.05
雑 穀	100.0	126.0	161.6	193.3	192.0	203.5	26.0	28.3	19.6	△0.7	6.0	0.01
豆	100.0	99.8	105.0	104.3	100.3	104.9	△0.2	5.2	△0.7	△3.8	4.6	0.03
い も	100.0	113.9	103.7	99.8	106.5	123.5	13.9	△9.0	△3.8	6.7	16.0	0.40
野 菜	100.0	96.7	106.2	113.3	127.7	132.4	△3.3	9.8	6.7	12.7	3.7	0.99
果 実	100.0	100.9	101.4	105.3	124.9	127.1	0.9	0.5	3.8	18.6	1.8	0.18
工芸農作物	100.0	113.4	113.1	111.7	115.4	127.3	13.4	△0.3	△1.2	3.3	10.3	0.30
花 き	100.0	107.8	117.2	119.1	126.1	120.4	7.8	8.7	1.6	5.9	△4.5	△0.17
畜 産 物	100.0	105.6	105.3	113.4	110.6	122.7	5.6	△0.3	7.7	△2.5	10.9	4.03
うち鶏 卵	100.0	125.9	128.7	178.9	139.2	185.7	25.9	2.2	39.0	△22.2	33.4	2.22
生 乳	100.0	99.4	99.9	109.9	117.0	119.9	△0.6	0.5	10.0	6.5	2.5	0.24
肉 畜	100.0	102.5	106.7	108.6	111.9	116.1	2.5	4.1	1.8	3.0	3.8	0.61
子 畜	100.0	105.4	88.7	75.8	75.3	91.7	5.4	△15.8	△14.5	△0.7	21.8	0.81

注：寄与度は、令和7年の農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

2 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は124.2となり、前年に比べ3.0%上昇した。
 類別の指数の主な動向は、次のとおりである。

- (1) 畜産用動物は99.0で前年に比べ14.1%上昇した（肉用牛等の価格が上昇。）。
- (2) 農機具は113.6で前年に比べ4.9%上昇した（コンバイン、乗用トラクタ(25ps)等の価格が上昇。）。
- (3) 飼料は137.7で前年に比べ2.0%低下した（配合飼料等の価格が低下。）。
- (4) 光熱動力は134.8で前年に比べ3.7%上昇した（重油等の価格が上昇。）。

表4 農業生産資材の年次別価格指数及び対前年騰落率

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率					寄与度
	令和 2年	3	4	5	6	7	令和 3年	4	5	6	7	
農業生産資材（総合）	100.0	106.7	116.6	121.3	120.6	124.2	6.7	9.3	4.0	△ 0.6	3.0	%
うち種苗及び苗木	100.0	101.5	104.0	106.8	109.6	114.2	1.5	2.5	2.7	2.6	4.2	0.17
畜産用動物	100.0	105.9	96.2	88.3	86.8	99.0	5.9	△ 9.2	△ 8.2	△ 1.7	14.1	1.14
肥 料	100.0	102.7	130.8	147.0	136.9	140.3	2.7	27.4	12.4	△ 6.9	2.5	0.22
飼 料	100.0	115.6	138.0	145.7	140.5	137.7	15.6	19.4	5.6	△ 3.6	△ 2.0	△ 0.53
農業薬剤	100.0	100.2	102.9	112.9	114.8	116.9	0.2	2.7	9.7	1.7	1.8	0.14
諸 材 料	100.0	100.1	103.3	112.3	116.9	120.1	0.1	3.2	8.7	4.1	2.7	0.16
光熱動力	100.0	112.3	127.3	126.9	130.0	134.8	12.3	13.4	△ 0.3	2.4	3.7	0.34
農 機 具	100.0	99.9	100.9	105.0	108.3	113.6	△ 0.1	1.0	4.1	3.1	4.9	0.58
自動車・同関係料金	100.0	100.4	101.0	102.2	104.2	114.6	0.4	0.6	1.2	2.0	10.0	0.24
建築資材	100.0	113.0	133.3	137.2	137.0	139.6	13.0	18.0	2.9	△ 0.1	1.9	0.17
農用被服	100.0	100.3	103.0	110.0	114.0	118.4	0.3	2.7	6.8	3.6	3.9	0.02
賃借料及び料金	100.0	100.8	102.3	105.0	107.8	113.0	0.8	1.5	2.6	2.7	4.8	0.27

注：1 寄与度は、令和7年の農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

2 諸材料は、野菜・果実用段ボール、農業用ビニール、梱包用樹脂製品等である。

【統計表、調査の概要】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001485296>

【調査結果の主な利活用】

- ・ 農畜産物の生産者に支払う補給金等の算定のための資料
- ・ 食料自給率（生産額ベース）の算定のための資料
- ・ 農業総産出額を算出するための資料
- ・ 農業・食料関連産業の経済計算における農業生産額算出のための資料
- ・ 国民経済計算（内閣府）の実質値を求める際のデフレーター算出のための資料に活用

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」の「農業物価統計調査」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/#y>

- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
農林水産省 大臣官房統計部
経営・構造統計課 分析班
電 話:(代表) 03-3502-8111 内線3633
(直通) 03-3502-5653

◎農林水産統計全般について
農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電 話:(代表) 03-3502-8111 内線3589
(直通) 03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

